

コーチングセミナー開催
心構えや基本スキル学ぶ
信頼関係の構築と効果的な部下指導

近畿印刷産業機材協同組合は6月14日(火)・28日(火)の2日間、大阪産業創造館においてコーチングセミナーを開催、18名が参加した。

講師は、有限会社Office Creationの國弘隆子社長。信頼関係の構築と効果的



な部下・後輩指導ができるようになることを目的に、コーチングの意味の理解と心構えの醸成やコーチングの基本スキル(傾聴・承認・質問)などを学んだ。

暑い夏の夜のひとときを楽しむ
恒例の交流ビアパーティ
組合員企業の従業員ら115名が参加

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)は8月29日、大阪・中央区の大阪キャッスルホテル内「中華料理 錦城閣」において恒例の交流ビアパーティを開催。組合員及び組合員企業の従業員ら115名が出席し、親睦を深めた。

開宴に先立ち挨拶に立った加貫理事長は、「寒暖の差が激しい気候の中、健康には留意していただきたい」と和やかに口火を切った後、大震災や円高の影響による景気後退に懸念を示し、企業倒産が相次ぐ



業界の現状を示した上で、「今年も皆様の経営に役立つ事業を積極的に展開していく」と述べ、多くの参加を呼びかけ、ビール片手に乾杯を発声。ビアパーティがスタートした。

会場では、夏の夕暮れに映える大川の川面を眺めながら、組合員企業の従業員同士が歓談する場面も見られ、和やかなムードのもと、参加者は暑い夏の夜のひとときを楽しんだ。

9月16日から21日までの6日間、東京ビックサイトで開催

印刷が創る未来への可能性を世界に示す



統一テーマは「Print your Future!～印刷は環境と共に進化する～」

国際総合印刷機材展「IGAS2011」が9月16日から21日までの6日間、東京ビックサイト東館全ホールを使用して開催される。今回の統一テーマは「Print your Future!～印刷は環境と共に進化する～」。

国内景気の低迷、そして今年3月に発生した東日本大震災の影響などから前回のIGAS2007と比べ約6割程度の327社・2,724小間の出展規模となったが、プリプレスから印刷、ポストプレスにわたり世界の主要メーカーはもとより、特にデジタル分野では活気あふれる多くのベンチャー企業が多数出展参加。さらに今回は、東日本大震災復興支援企画も用意しており、IGASを通じて日本の印刷産業の景気回復だけでなく被災地支援にも力を注いでいく。

今回のIGAS2011は、「Print your Future!-印刷は環境と共に進化する-」をテーマに掲げ、印刷が創る未来の可能性を示し、最新鋭の機材や技術を一堂に会して展示し、印刷関連業界に未来志向で前向きなソリューションと活発なビジネス交流の場を提供していく。またIGASは、世界4大機材展として開催されることから会期中には、国際展に相応しい講演会、セミナー、国際会議が東京ビックサイト会議棟にて開催される。会期初日の9月16日は「全印工連フォーラム2011」、9月17日には「ジャパンカラー認証制度セミナー」及び「GlobalPrint会議」、9月18日には「環境国際フォーラム」、そして最終日の9月21日には「e-Book Forum」がそれぞれ開催されるほか、出展各社に

よる新製品説明会や技術セミナーなども多数行われる。さらに被災地支援を打ち出している今回のIGASでは、東日本大震災復興支援企画として会場内に復興支援ブースを設置し、被災地の報道写真を中心とした写真展を開催。同ブースでは、入場料を徴収し、全額を義援金として寄付していく。

IGAS恒例の「先進技術ゾーン」では、全国の大学を主体に14の研究室から最新の研究成果が展示されるほか、話題の電子出版関連の製品・技術については、主催者特設展示コーナーとして「デジタルパブリッシングコーナー」を新設。デジタルサイネージや電子書籍関連サービスなどの展示を行うほか、会場内の企業広告に関しても従来の紙メディアに加え、デジタルサイネージを利用したサービスなども行っていく。

そしてIGAS2011では、入場システムを刷新し、タッチするだけで会場に入場できるICカードを利用した新入場システムを導入。来場者は鉄道やバスで使用するIC乗車券、またはICカード機能付き携帯を入場ゲートにかざすだけで入場できる。さらに新たな試みとして、IGAS展示会の雰囲気を実感できる「動画撮影・配信サービス」も実施していく予定。

懸念されている節電対応については、通常電力使用量の15%削減を目標に取り組みを実施。共用部及び展開場内の照明や空調、またエスカレーターなどを調整し、電力使用量の低減化を図っていくほか、出展各社にも電力削減、クールビズなどについて協力、理解を求めていく。